

令和2年度 部局経営目標

年度	令和2年度	作成日	令和2年4月1日
部局名	北房振興局	部局長名	上島芳広
(1) 部局の役割・使命(ミッション)・経営方針			
<p>■ 災害に強いまちづくり【No.11:住み続けられるまちづくりを】 市民の安心安全な暮らしを守るため関係機関・団体と連携を密にし、防災意識の向上と地域連携を図り、地域防災力の強化を図ります。</p> <p>■ 生涯を通じた健康づくりの推進【No.3:すべての人に健康と福祉を】 持続可能な地域社会を実現するための基本となる健康づくりに、各団体等との連携を図りながら取り組みます。</p> <p>■ 市民と協働・連携したまちづくり【No.11:住み続けられるまちづくりを】 市民との協働、連携によるまちづくりを推進し、地域課題の解決や地域活性化に向けて自ら取り組む地域づくりを進め、持続可能な地域社会の実現を目指します。</p> <p>■ 地域の強みを活かした地域振興【No.11:住み続けられるまちづくりを】【No.14:海の豊かさを守ろう】【No.15:陸の豊かさを守ろう】 豊かな地域資源(風習文化・伝統工芸・自然景観・食文化・農林畜産物等)が次世代に引き継がれるようにをブラッシュアップし、観光事業に積極的に活用していくことで地域の魅力を全国に発信し、さらなる交流・定住人口の増加を図ります。</p> <p>■ 移住・定住の促進【No.11:住み続けられるまちづくりを】 移住者や関係人口獲得など、持続可能なまちづくりを目指す地域団体等の活動を支援します。</p> <p>■ 地域の特性を生かした産業振興【No.11:住み続けられるまちづくりを】 歴史、文化、風土、景観など地域の強みを活かした市民主体の振興事業や特産品を活用した商品開発などの地域内経済循環を推進し、豊かで自立した農山村の実現及び来訪者・関係人口の増加を目指します。</p> <p>■ 生み育てやすい環境づくり【No.11:住み続けられるまちづくりを】 安心して子育てができる環境を確保するためライフスタイルにあわせた支援をおこないます。</p> <p>■ 行政財産の有効活用【No.11:住み続けられるまちづくりを】 市民の共有財産である「行政財産・公共施設」について、一層の有効活用のため、地元の意向を把握しながら、管理運営形態や複合的なっ利用手法を検討します。また、地元協議やHP等での情報発信も積極的に実施します。</p>			
(2) 事業成果目標			指標名及び目標値
<p>● 自主防災組織の強化 市民の生命を守るため、防災意識の向上につながる取り組みを進めていきます。 ・国が示す新たな基準に対応した指定緊急避難場所(災害別)と指定避難所を選定します。 ・新たな避難場所や避難所を掲載した「真庭市防災マップ」を配布し、今後の避難訓練等に活用するよう、自主防災会と連携していきます。 ・自主防災組織連絡協議会の組織強化と地域防災力の向上のため、自主防災組織代表者会議を中心に地域の課題の共有と課題解決にむけ協議し、実践していきます。</p> <p>参考(令和元年度実績値) 代表者会議実施回数 3回 避難訓練実施回数 1回</p>			<p>指標:①代表者会議実施回数、②避難訓練実施回数</p> <p>目標値:①2回、②1回</p> <p>指標変更 (令和元年度実績値:北房版防災一覧表作成数1件、配布数全戸配布)</p>

<p>●健康づくりのための実践活動支援 糖尿病予防のための健康づくりに取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北房地域も糖尿病予備軍が多いため健康課題の解決に取り組みます。 ・糖尿病のリスクを下げる食習慣の対策として、「ベジ食べるファースト～いただきます。一口目は野菜から～」プロジェクトをほくぼう健康づくり実行委員会で地域を巻き込んで実施します。 ・ベジ食べるファーストのリーフレットを作成し、野菜レシピとともに北房地内の医院、団体、JA、店舗、郵便局などに設置します。 ・給食時にベジ食べるファーストの健康教育を実施します。 	<p>指標:協力団体・店舗数</p> <hr/> <p>目標値:10団体</p> <hr/> <p>新規</p>
<p>●協働のまちづくりの推進 街並み活性化イベントを実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「北房まちの駅」を地域と行政の連携の拠点として、商店街のにぎわいづくりや大学生が活躍するフィールドとして活用し、関係人口を創出していきます。 ・地域活動団体の取り組みを支援し、地域づくりの新たな担い手の育成を図ります。 ・北房まちの駅を活用し、地域内外の物産やグルメを集め、住民が触れ合う交流イベントを実施します。 <p>参考（令和元年度実績値） イベント開催回数 1回</p>	<p>指標:①まちの駅利用者数 ②イベント開催数</p> <hr/> <p>目標値:①720人 ②年2回</p> <hr/> <p>指標変更 （令和元年度実績値：①539人）</p>
<p>●地域振興事業（阿口） 里山の資源を活用した地域振興事業に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北房紅葉公園を活用したお試しキャンプ事業を継続して行い、アウトドアをキーワードとした地域の活性化やその担い手組織の育成に取り組み、交流・関係人口の増加を図ります。また、この事業の成果を分析し、今後の施設の有効活用の方向性を定めます。 ・域外の住民を対象に体験交流イベントを実施。紅葉公園でのキャンプやホテル観察会、備中川や北房ダムでのゴミ拾いなど、流域を通じた里山里海交流事業に取り組みます。 ・紅葉公園と北房ダム周辺地域の魅力アップ・知名度アップをねらい、ダム湖のネーミング（愛称）を募集します。 ・地域資源や遊休施設を活用した、阿口地域の住民活動を支援して、地域振興に繋がります。 	<p>指標:①キャンプ場利用者数、②交流イベント開催、③ダム湖愛称決定</p> <hr/> <p>目標値:①2,500人、②2回、③1件</p> <hr/> <p>指標変更 （令和元年度実績値：①2067人、③0件）</p>

<p>●地域間交流の推進</p> <p>日本一のホタルの里づくりを目指す取り組みを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホタルの保護活動や子供たちを巻き込んだ学習活動、景観保全などにより多くの人々が関わる仕組みをつくり、オール北房でのホタルの里づくりに取り組みます。 ・ホタルの生態研究、生息環境の分析を行い、それらを発信することでホタルの聖地・ホタル保護の先進地としての認知度を高めます。 ・地域や流域を越えた地域循環共生圏の創造のため、里山と里海が連携し相互に交流する取り組みを進めます。（※交流事業は、上記「●地域振興事業（阿口）」の事業内で実施する。） 	<p>指標:ホタル保護活動回数</p> <hr/> <p>目標値: 7回</p> <hr/> <p>(令和元年度実績値: 7回)</p>
<p>●なりわい塾の開催準備</p> <p>北房地域でなりわい塾を令和3年度から開催。多様な「なりわい」で地域と人の活性化を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度から新たに北房地区で、地元関係者が中心になって講座開設、運営等の準備を進めます。 ・なりわい塾では、遥か昔から紡いできた暮らしを学びながら、持続可能なライフスタイルを模索し、「なりわい」のカチを提案していきます。 ・なりわい塾を通じて、真庭に移住、関係を継続する人材を確保します。 	<p>指標:地元協力者数</p> <hr/> <p>目標値:20人</p> <hr/> <p>新規</p>
<p>●地域の特性を生かした産業振興</p> <p>大学と連携してAZAEプロジェクトに取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山商科大学の学生、地域住民を対象に、北房お大師巡りの調査したデータを活用・発信するためのワークショップを実施します。 ・参加者には、お大師巡りにモニターとして参加してもらい、ワークショップを通じて北房まちの駅を拠点とした地域活性化につながる調査データの有効活用に取り組みます。 	<p>指標:①ワークショップ開催数、②調査データの活用</p> <hr/> <p>目標値:①年1回、②1事例</p> <hr/> <p>指標変更 (令和元年度実績値:マップ作成 1件)</p>

<p>●農泊事業の推進 農泊を中心とした観光宿泊プランを企画していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真庭観光局や北房観光協会が企画する、外国人も対象とした滞在型観光ツアーについて、地域で受け入れる環境を整備していきます。 ・関西圏からの高速バスを利用してのツアー企画など、関係機関と連携し高速道路がクロスする地域の強みを生かした誘客に取り組みます。 ・季節行事と郷土料理体験、囲炉裏ごはんなどを体験できる宿泊プランを企画します。 ・農家民宿の開業を支援します。 	<p>指標:①宿泊プラン数、②農家民宿件数</p> <hr/> <p>目標値:①2件、②2件</p> <hr/> <p>指標変更 (令和元年度実績値:フリーwifi設置数 1エリア、プロモーション映像制作数 1本、農家民泊を始める家 0件)</p>
<p>●地域振興計画の取りまとめ 北房地域振興計画を取りまとめ、地域振興に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北房地域の観光を含めた地域づくりの方向性について取りまとめ、その具体的なアクションを進めることとします。 ・真庭全体での連携を図りながら、持続的な中山間地域の実現のため、北房振興局独自の地域振興策を様々な業種の人から意見を聞きながら検討していきます。 	<p>指標:北房地域振興計画</p> <hr/> <p>目標値:取りまとめ1件</p> <hr/> <p>新規</p>
<p>●北房つどいの広場を活用した子育て支援事業 乳幼児の一時預かり事業の取り組みを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援対策として、つどいの広場ほくぼうほたるっこ協力し、地域住民同士の助け合いで1時間単位での乳幼児の一時預かり事業を立ち上げます。 ・上半期で一時預かりについて、地域の保護者へアンケート調査を実施します。 ・アンケートをもとに地域のニーズにあった一時預かりのシステムを検討します。 ・一時預かりの「まかせて会員」を募集します。 ・下半期で一時預かりの事業開始を目指します。 	<p>指標:一時預かり開設件数</p> <hr/> <p>目標値:1件</p> <hr/> <p>新規</p>
<p>●管内公共施設の有効活用及び効率的運営の推進 学校等跡地の有効活用の推進に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃校、廃園跡地の有効活用に向けた公募情報等を広くPRします。 ・活用提案があれば、積極的に実現に向け支援や調整を行います。 ・廃校等の活用策(方向性)を検討し、有効活用へ繋げていきます。 	<p>指標:有効活用策の実現</p> <hr/> <p>目標値:1件</p> <hr/> <p>(令和元年度実績値:2件)</p>